

4 病院の統合・合築に関する地域医療構想調整会議における意見について

1 地域医療構想調整会議の開催状況

4病院の統合・合築に関して、県が9月9日に公表した「政策医療の課題解決に向けた県立病院等の今後の方向性」及び12月20日に公表した「仙台医療圏の4病院の統合・合築に係る宮城県の考え方」により、各医療圏の医師会、主要病院及び関係機関に説明し意見交換を行うため、下記のとおり会議を開催した。

なお、各会議は新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催とした。

(1) 第2回地域医療構想調整会議（仙南区域）

開催日時 令和4年3月8日付け書面による意見照会

(2) 第2回地域医療構想調整会議（仙台区域）

開催日時 令和4年3月8日付け書面による意見照会

(3) 第2回地域医療構想調整会議（大崎・栗原区域）

開催日時 令和4年3月8日付け書面による意見照会

(4) 第1回地域医療構想調整会議（石巻・登米・気仙沼区域）

開催日時 令和4年3月8日付け書面による意見照会

2 上記会議における主な御意見

○ 医療提供体制に関すること

No.	御意見
1	県内全体の医療を俯瞰的に見れば、県立病院の統合は進めていくべきと考える。
2	県の方針は県全体の医療を考えれば妥当なものとする。地域住民の思いは理解するが、やむを得ない。
3	県立病院の統合・合築を期待している。
4	過剰な急性期病床を減らし不足する病床を増やすという全体構想に従って統合・合築を進めることを確認されたい。
5	4病院の統合・合築により医師、看護師がどれだけ新しい病院に移るのかわからないが、結果的に縮小され全体の医療の質が低下しないかが心配である。
6	名取亘理地区においては救急病院である南東北病院、産科のあるスズキ記念病院との機能分担をしっかりと進めていただきたい。県立がんセンターは東北大との機能分担が必要と考える。

○ 救急医療に関すること

No.	御意見
1	3次救急及び専門性の高い2次救急を現状あまり行っていない4病院において、再編後の新病院に負わせることは難しいのではないかと懸念。
2	救急医療体制の整備や医療の地域間格差もあり、地域のバランスを考慮して分散化することも理解できるが、現にその医療機関に通院している方も多く、移転後も負担がなく通院できる環境を整備する必要がある。

3	新しい病院が2次救急施設として黒川，名取，亶理郡の救急を受け入れることは仙台市内の救急対応病院において市外からの救急車搬送の受け入れが減少する分余裕が出る一方で，東北労災病院及び仙台赤十字病院が収容していた分の救急車受け入れが減少することで，仙台市消防の救急搬送に関しては搬送困難事例が増える可能性がある。
---	---

○ がん医療に関すること

No.	御意見
1	悪性新生物の診療に関しては，今後予想される県立病院等の再編計画に沿って，より効率的かつ充実した診療提供に向けて一層の機能分化，機能連携が大切と考える。
2	がんセンターの基礎部門をしっかりと残さないとがん診療のレベルが下がってしまう。

○ 立地場所に関すること

No.	御意見
1	患者，医療従事者の通院又は通勤の負担が増えないよう，公共交通機関が利用しやすく自然災害に強い場所等，考慮していただきたい。
2	距離的に遠い病院同士の統合・合築にはどうしても無理があるように思う。

○ 病院経営に関すること

No.	御意見
1	政策医療は大事だが，第一に経営に主眼を置いた病院経営を行うことが必要と考える。

○ 今後の進め方に関すること

No.	御意見
1	4病院の地域住民との懇談が必ずしも十分とは言えず，跡地の医療をどのようにしていくのか等，十分に協議の上進めてほしい。
2	宮城県の考え方は妥当で，理解できる。今後の進め方として，当該病院以外の近隣の病院（黒川・県南中核など）を加えた議論の場があると良いと考える。
3	住民や県民への周知，多くの方から賛同が得られるような計画策定に向け，準備や情報発信をお願いしたい。

3 今後の進め方

今回の地域医療構想調整会議でいただいた意見のほか，これまで開催してきた周産期医療協議会，救急医療協議会や，仙台医療圏市町村長会議などの場でいただいた意見を踏まえ，引き続き関係者と新病院の具体的な内容について協議を行う。

その上で，関係者との協議を重ねながら具体的な検討が進めば，その内容を地域医療構想調整会議などで説明し，その都度，できる限りの情報提供に努めていく。